

なぜイスラエル？

導入

このセクションは、メッセージを聞く前に読んでください。

「なぜイスラエルか。」という問いには、2つの疑問点が含まれています。なぜイスラエル民族なのか、なぜイスラエルの地なのか、ということです。この国は土地も人口も小さいにも関わらず、なぜ日々ニュースで大きく取り上げられるのでしょうか。なぜ世界の教会の中では、イスラエルに関して様々な混乱があるのでしょうか。

聖書には、イスラエル、あるいはイスラエル人という語が2,600回近く出てきます。ですから、イスラエルを理解していなければ、聖書を十分理解することができません。イスラエルについて混乱したままだと、聖書の理解においても混乱したままになってしまいます。新約聖書には「イスラエル」という語が97回登場しますが、この学びを始めるにあたって、イスラエルという語は教会を指しているものではないことを理解することが重要です。単純に、イスラエルはイスラエル自体であって、教会は教会です。教会は、神が国として贖うと決めた特有の民族であるイスラエルに置き換えることができません。

このメッセージはイギリスでのメッセージの記録です。イスラエルに関する統計で更新している部分もありますが、真理は変わりません。神は国としてイスラエルを選び、再び彼らをアブラハム、イサク、ヤコブに約束した彼らの地に集め、そしてイエスはイスラエルに戻って来られます。

まとめと質問

このセクションは、メッセージを聞いた後に読み、質問に答えてください。

この教えを初めて聞く多くの人にとって、イスラエルの重要性について心と知性の中に大きな変革が生まれるでしょう。イスラエルについて、よく理解できていないクリスチャンが多くなります。しかし、神ご自身の忠実さがこの真理を明らかにしてくださり、私たちは神の祝福を受け取ることができるでしょう。

創世記 12:1-3 を読みましょう。

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

この箇所から引き出されるカギとなる真理は、アブラムの子孫であるユダヤ民族を私たちが祝福するとき、私たちは神の祝福を受けるとことです。その逆もまた事実で、もし私たちがユダヤ民族をのろえば、神ののろいを受けるのです。私たちが彼らを祝福できるように、聖書がイスラエルとユダヤ民族についてどのように言っているかを知り、私たちが神の目的と結びつくことが不可欠です。そのようにして私たちは神の祝福を経験するのです。

以下の空欄を埋めてください。(答えは最後のページにあります。)

イスラエルについての事実

1. 「イスラエル」とは、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫たちの国(民族)の名前です。のちに彼らはユダヤ人と呼ばれますが、今日では、ユダヤ人と.....人はほぼ同義語です。
2. 旧約聖書には、「イスラエル」、あるいは「イスラエル人」という語が.....回以上出てきます。
3. 新約聖書には「イスラエル」という語が 97 回出てきており、それは決して.....を表わすものではありません。
4. 「ユダヤ」という語は旧約聖書に 84 回、新約聖書に 192 回出てきます。一方、「クリスチャン」という語は新約聖書にたった.....回しか出てきません。

イスラエルの独特性

5. イスラエルの独特性は、第一歴代誌 17:21 でダビデによって言われています。「また、地上のどの国民があなたの民イスラエルのものでしょう。神ご自身が来られて、この民を贖い、これをご自身の民となさいました。あなたがエジプトから贖い出してくださったあなたの民の前から、国々を追い払うという大なる恐るべきことを行って、名を得られるためでした。」神が他の国々から一つの国として.....た国は、他に一つもありません。
6. 出エジプト記 19:6 で、神はモーセにイスラエルについてこう言っています。「あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。」神がそのようなことばを語った.....は他に一つもありません。
7. パウロはローマ 9:4-5 で、イスラエルとユダヤ人だけに当てはまる特別な特徴の数々を挙げています。「彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。父祖たちも彼らのものです。またキリストも、人としては彼らから出られたのです。このキリストは万物の上であり、とこしえにほめたたえられる神です。アーメン。」
 - (ア) 神はイスラエル人を国として.....としました。
 - (イ)..... - イスラエルが従順に歩んでいる限り、神の超自然的臨在の現われがともにあります。
 - (ウ) イスラエルが国とされる以前に結ばれたものを除くと、.....はすべてイスラエルと結ばれました。
 - (エ).....は、イスラエルに与えられました。
 - (オ) 神への.....者としての務め。
 - (カ).....。
 - (キ) すべての族長たちが.....として同じ家系から来ています。
 - (ク) イスラエルを通して、救い主・.....:イエス・キリストが世に来られました。
8. 地上の生涯でイエスは、.....人であり、天に昇られた今もイエスはユダヤ人です。黙示録 5:5 はイエスを「ユダ族から出た獅子」と啓示しています。ユダ族はユダヤ人という語のルーツですから、イエスは永遠にユダヤ民族としてみなされます。
9. ヨハネ 4:22 はサマリヤの女へのイエスのことばを記しています。「救いはユダヤ人から出るので、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。」もし、.....が存在しなければ、世界に救いはなく、族長もなく、預言者もなく、使徒もなく、聖書も救い主もありません。
10. イスラエルの全歴史は預言によって語られています。
 - (ア).....での奴隷生活。
 - (イ) エジプトから富とともに.....される。
 - (ウ).....の地を所有する。
 - (エ) 約束の地で.....に戻る。
 - (オ) 神はエルサレムに.....の中心を確立する。
 - (カ) 北王国は.....に捕囚となって連れて行かれる。

- (キ) 南王国は、.....に捕囚となって連れて行かれる。
- (ク) 第一.....(ソロモンによって建てられた)の破壊。
- (ケ) バビロンから.....が帰還する。
- (コ)神殿(イエスの時代)の破壊。
- (サ) 彼らは異邦の.....の間に散らされる。
- (シ) 彼らは.....の間で迫害と抑圧に耐える。
- (ス) すべての.....から再び集められる。
- (セ) 戦争のため、.....に敵対してあらゆる国々が集まる。
- (ソ) 神の民への.....の超自然的な啓示。
- (タ) 栄光と力をもってメシヤが.....。

上記のリストで最後の 3 つの預言はまだ成就されていませんが、その他の 13 の預言は成就したという事実が、残りの 3 つの預言も成就されるという確信を私たちに与えてくれます。

イスラエルの地に対する神の計画

デレクが言っているように、現代政治において最も論争されている話題はおそらく、誤ってパレスチナと呼ばれているイスラエルの地のための神の計画でしょう。

11. ヨシュアのもとでイスラエル人がその地を手に入れるまでは、そこは、.....の地と呼ばれていました。新約聖書ではローマの統治下にあったにもかかわらず、イスラエルの地と呼ばれ続けています。
12. 創世記 17:7-8 で、神はアブラハムとご自身の完全な主権による契約を結びました。「わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。わたしは、あなたが滞在している地、すなわちカナンを、あなたとあなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。わたしは、彼らの神となる。」
あなたが聖書を信じているなら、その「地」が誰のものかという議論はありません。イスラエル人がその中にいる、いないは何の違ってもたらしません。それは、.....の所有として与えられたのです。

聖書全体で最も注目すべき聖句の一つは、詩篇 105 篇です。その中には、イスラエルに対する計画への神ご自身のまったき献身を示すことばが多く記されているからです。

「この方こそ、われらの神、主。そのさばきは全地にわたる。主は、ご自分の契約をとこしえに覚えておられる。お命じになったみことばは千代にも及ぶ。その契約はアブラハムと結んだもの、イサクへの誓い。主はヤコブのためにそれをおきてとして立て、イスラエルに対する永遠の契約とされた。そのとき主は仰せられた。『わたしはあなたがたの相続地としてあなたに、カナンの地を与える。』」

神がご自分の民イスラエルに与えた、イスラエルとも呼ばれるその地に関する神ご自身の献身のことばを、しっかりとらえてください。契約、みことば、誓い、おきて、永遠の契約、です。

13. エレミヤ 30:3 に、終わりの日になされるユダヤ民族の相続地への.....についての数え切れない約束のうちの一つが記されています。「見よ。その日が来る。——主の御告げ——その日、わたしは、わたしの民イスラエルとユダの繁栄を元どおりにすると、主は言う。わたしは彼らをその先祖たちに与えた地に帰らせる。彼らはそれを所有する。」ある程度聖書の知識がある人なら、それがアブラハム、イサク、ヤコブに与えられた土地がカナンの地、イスラエルの地であるとわかります。
14. エレミヤ書は、イスラエルの帰還は非常に恐ろしく、抑圧と妨害となると言っています。ユダヤ民族のその地への帰還はすぐに.....を生み出すものではありません。反対に、それは彼らが経験したこと

のないほどの苦難のクライマックスとなるでしょう。しかし、彼らはその苦難から救われると約束されています。その地を出て救われるのではありません。

15. エゼキエル 36 章は神が.....を取り扱う第一の動機を明らかにしています。21 節はこう言っています。「わたしは、イスラエルの家がその行った諸国の民の間で汚したわたしの聖なる名を惜しんだ。」神がイスラエルを取り扱っているのは、ユダヤ民族のためにではなく、ご自身の名のゆえにです。
16. 24 節で神は言われています。「わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。」彼らがそこにいる、いないにかかわらず、その地はイスラエルのものです。神が.....の所有として彼らに与えたからです。
17. 25 節は神による回復のプロセスの次の段階へと続きます。「わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ…」神はきよめと回復をもたらすために彼らに神のことばというきよい水をふりかける前の、彼らがまだ.....ときに彼らは集められるということに注目してください。
18. エゼキエル 36:26 はこう続いています。「あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。」例外であった人がいたとしても、何世紀にもわたる離散の間、ユダヤ民族は神のさばきという石の.....を持っていました。石の心は聖霊に応答することが不可能ですが、今、神はその石の心を取り除き、肉の心とイエシュア、イエスに対する態度の興奮すべき変化の一つを与えておられます。
19. 27 節で神はイスラエルにこのように言っています。「わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる。」これは、神のおきてを守ることを可能にする、聖霊の.....のことを言っています。
20. 28 節でこれまでの段階すべてのクライマックスの時が来ます。「あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」たとえ、あなたがユダヤ人に批判的であったとしても、.....が働き、私たちの目の前でこのみことばが成就するのを見るとき、私たちは受け入れなければなりません。
21. 原語のヘブル語では、エゼキエル 36:23-30 の中で神は「わたしは～する。」と.....回言っています。神は主権者であり、段階的にすべてのことを成し遂げられます。

現在成就されつつある預言

22. イザヤ 11:11 で、神は最初に集められることが起こる前に、.....の集めがあると預言しています。この第二の集めは、数か所からではなく、まさに世界中から集められます。
23. イザヤは「国々のために旗を上げ」(イザヤ 11:12)と言っています。.....は神がみことばを成就した国々へのしるしです。神はご自身の契約を守る、と全世界の前で確証しています。イスラエルを彼らの地へ回復することによって、神はおよそ 3800 年前にアブラハムと結んだ契約を守られるのです。
24. 契約を守るという神の誠実さは、私たちクリスチャンにとって非常に重要なことです。なぜなら、私たちの神との関係は.....の血によって結ばれた契約に基づいているからです。神は契約を破るお方ではありません。神は契約を結び、その契約を守られます。
25. ヨエル 3 章は、国々への神のさばきについて語っており、2 節の最後に、神の.....を分け取った者たちは神の怒りに遭うと言っています。

すべての背後にある本当に問題は何なのか?

このセクションの背景となる、マタイ 23:37-39 を見てみましょう。

ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人々を石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残される。あなたがたに告げます。「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。

37 節で「あなたがたはそれを好まなかった。」と言っており、それが特定の人々の集団であることが表わされています。38 節の「家」とは、宮のことで、イエスがこのことばを語っている一世代の間に、その宮は紀元 70 年ローマによって完全に荒れ果ててしまいました。

39 節でイエスはユダヤ民族がご自分を喜んで迎える準備ができるまでは、彼らはわたしを見ることはないと言っています。イエスはご自分が戻って来られる前にユダヤ民族の心を整えなければなりません。これについて重要なことは、再臨の時、メシヤなるイエスをその場所で迎えることができるように、ユダヤ民族がイスラエルとエルサレムで回復される必要があるということです。

26. ゼカリヤ 12:10 にこうあります。「わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。」

(ア) 聖霊によって、ご自身の民ユダヤ人に対して、イエスがどのようなお方であるかという.....が訪れます。

(イ) そして、イスラエルの歴史において経験したことの無いほどの.....があります。その時初めて彼らは、「自分たちがメシヤを十字架につけた。私たちは自分たちの神を拒絶した。」と気づきます。

27. もし、そのマタイの福音書とゼカリヤ書の聖句を一つにするなら、主が戻って来られる前に特定のことが回復されなければならないと気づきます。.....民族がエルサレムとイスラエルの地で回復されなければならないかもしれません。主イエスは彼らが回復されるまで戻って来られないからです。そして、ご自身へ人々の心を立ち返らせるイエスの超自然的な啓示がなければなりません。

28. この時代の神であるサタンが最も恐れていることは、.....の再臨です。イエスが戻って来られるまでは、サタンは多くの戦いに敗れても、敵意は失いません。その敵意はイエスの再臨まで変わることはありません。

29. サタンが最も圧力をかけてくる状況とは、イエスの再臨にふさわしいすべての条件が整えられることに対してです。ユダヤ民族は、イエスが戻って来られる前に自分たちの都として.....において、その地を占領していなければならないかもしれません。ですから、サタンは主を連れ戻すシナリオの準備の妨害となり得るあらゆることをしているのです。

30. イエスは戻って来られる時、すべての国々を集め、イスラエルの地のために神の要求にどのように応答したかに基づいて、国々を.....ます。

この重要なメッセージの締めくくりとして、主の前に静まりましょう。

天の父よ、あなたの民イスラエルの驚くべき重要性を理解できるように助けてくださったことを感謝します。あなたが彼らとの契約を守り続けてくださっていること、そしてあなたは彼らへの約束のすべてを成就してくださることを感謝します。

もし、ユダヤ民族に対する考え方や態度、言動で、私に悔い改める必要があるなら、それに気づくことができるよう私の心を聖霊に敏感にさせてください。私の無関心を赦してくださり、私がエルサレムの平和のために祈り、主の再臨のための備えとして、ユダヤ人の正当な相続のために彼らの帰還の支援を積極的に行なうことができるように助けてください。イエスの御名によって。アーメン。

答え - なぜイスラエル

1. イスラエル
2. 2500
3. 教会
4. 3
5. 贖い出し
6. 国
7. (ア) 子 (イ) 栄光 (ウ) 契約 (エ) 律法 (オ) 礼拝
(カ) 約束 (キ) イスラエル (ク) メシヤ
8. ユダヤ
9. ユダヤ人
10. (ア) エジプト (イ) 救い出し (ウ) カナン (エ) 偶像礼拝 (オ) 礼拝
(カ) アッシリヤ (キ) バビロン (ク) 神殿 (ケ) 残りの者 (コ) 第二
(サ) 国々 (シ) 異邦人 (ス) 国々 (セ) エルサレム (ソ) メシヤ
(タ) 来られる/再臨する
11. カナン
12. 永遠
13. 帰還
14. 平和
15. イスラエル
16. 永遠
17. 汚れている
18. 心
19. バプテスマ
20. 神
21. 18
22. 第二
23. 旗
24. イエス
25. 地
26. (ア) 啓示 (イ) 嘆き
27. ユダヤ
28. イエス
29. エルサレム
30. さばき

問題数 - 53 問